



2009年6月28日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

鳩山代表 静岡で街頭演説

静岡から政権交代を

鳩山由紀夫代表は25日夕、JR静岡駅付近で開かれた街頭演説会に参加。政治の変化を期待して集まった約1500人の聴衆を前に、静岡から政権交代へのさらなるうねりをと訴えました。



「総理大臣」との声も飛び交い、大声援に包まれるなかマイクを握った鳩山代表は、静岡県を日本一の理想郷に仕立てるために協力していくと表明。民主党は政権交代を果たすことで国政において官僚政治の打破、天下りを根絶することを誓うが、その前に静岡において脱官僚、天下りのない公平・公正な社会をつくりだしてほしいと呼びかけました。

また、鳩山代表は、「人の幸せを自分の幸せと感じられるような社会をつくりたい」との思いを語り、自身が掲げる「友愛」社会の実現によって、「日本人が本来持っていた人を思いやる精神を取り戻し、一人ひとりの居場所がある、人の役に立っていると感じられる社会をつくりたい」と重ねて訴えました。

また、弱い者の立場に立つのが政治だとして、「思いやりの社会を静岡から発信させてほしい。友愛のモデルをつくっていただきたい」と求めました。

演説には、牧野聖修静岡第1総支部長、細野豪志衆院議員、榛葉賀津也、藤本祐司両参院議員も参加し、それぞれ、静岡から政権交代を、と訴えました。



父子家庭への児童手当 生活保護の母子加算

参院 厚生労働委 相次いで可決

参議院厚生労働委員会では25日午前、児童扶養手当を父子家庭にも支給できるようにする「児童扶養手当法の一部を改正する法律案」が、全会一致で可決されました。自民・公明両党は欠席しました。採決に先立って行われた質疑に立った蓮舫議員は、児童手当支給基準が365万円以下の年収であり、父子家庭の37.2%が年収300万円以下であることも挙げ、児童扶養手当を母子家庭に限定するのは矛盾であると指摘。さらに、この法案成立によってかかる費用が114億円であることを確認し、アニメの殿堂よりもここにお金をかけるべきと主張しました。



午後には、生活保護の母子加算を復活させる「生活保護法の一部を改正する法律案」が、全会一致で可決。蓮舫議員は、母子加算復活のために必要な予算は、今年度下半期分で90億円であることを確認し、「思いつきで決めた定額給付金の事務費には800億円。本当に困っている人に90億円が出せないのはおかしい。政権交代したら、まず初めに復活させる」として政権交代の必要性を改めて強調しました。

両案は翌、26日の参院本会議でも全会一致で可決されました。

常任幹事会 次期衆院選公認追加決定

常任幹事会は23日、次期衆院選愛知県第1区の公認候補に佐藤ゆうこ氏（新・46・愛知県議）を決定しました。佐藤氏は幼稚園、保険会社勤務などを経て、河村前衆院議員の秘書を務め、07年4月の県議選で初当選。これで、公認候補は263人、推薦候補は25人。